

2023 年度報告書(楠城一嘉)
静岡県立大学グローバル地域センター
自然災害研究部門

Annual Report FY2023 of K. Z. Nanjo
Disaster Prevention Research Section
Global Center for Asian and Regional Research
University of Shizuoka

目次	ページ
1. はじめに	3
2. 活動実績等一覧	3
3. 問合せ先等	10

1. はじめに

静岡県立大学 グローバル地域センター 自然災害研究部門 2023 年度 楠城一嘉分の活動実績を報告します。論文・総説 5 件、学術講演 17 件、研究費(申請中、不採択を含む)12 件、報告書 2 件、一般向講演 6 件、学会活動 7 件、報道など 25 件、客員・委員など 15 件、企画 8 件、講義 5 件の計 102 件です。

関連資料の請求については、「3. 問合せ先等」を参照し楠城までご連絡下さい。

2. 活動実績等一覧

No.	項目	タイトル、内容など
1-1	論文・総説	楠城一嘉, 富士山直下で発生する低周波地震, 金属, 2024(投稿中).
1-2	論文・総説	楠城一嘉, 北海道・東北沖の地震サイズ分布(b 値)の時空間変化, 地震予知連絡会会報, 111, 549-553, https://cais.gsi.go.jp/YOCHIREN/report/kaihou111/11_10.pdf , 2024.
1-3	論文・総説	K. Z. Nanjo, Y. Yukutake, T. Kumazawa, Activated volcanism of Mount Fuji by the 2011 Japanese large earthquakes, Scientific Reports, 13, 10562 https://doi.org/10.1038/s41598-023-37735-4 , 2023.
1-4	論文・総説	K. Z. Nanjo, Y. Yamamoto, K. Ariyoshi, H. Horikawa, S. Yada, N. Takahashi, Earthquake detection capacity of the Dense Oceanfloor Network system for Earthquakes and Tsunamis (DONET), Journal of Seismology, 2024 (修正中), https://doi.org/10.48550/arXiv.2307.15281 , https://doi.org/10.21203/rs.3.rs-3375761/v1 .
1-5	論文・総説	D. Iwata, K. Z. Nanjo, Adaptive estimation of the Gutenberg-Richter b value using a state space model and particle filtering, Scientific Reports, 4(1), 4630, https://doi.org/10.1038/s41598-024-54576-x , 2024.
2-1	学術講演	Kazuyoshi Nanjo, SE04-A021 Spatiotemporal Changes in Stress State Off the Coast of Hokkaido and Tohoku Districts, Japan, AOGS2024, Alpensia Resort and Mona Yong Pyong Resort, Pyeongchang-gun, Gangwon-do, South Korea, 2024 年 6 月 23-28 日 (accepted).
2-2	学術講演	Kazuyoshi Nanjo, Takane Hori, Space and time changes in stress state and b -value off the coast of Tohoku and Hokkaido districts, Japan Geoscience Union Meeting 2024, 2024 年 5 月 26-31 日 (accepted).
2-3	学術講演	【招待公演】楠城一嘉, 地震学的考察(余震活動について), 能登半島地震に関するデータ検討会, 日本地震予知学会, 2024 年 3 月 9 日, 京都大学東京オフィス大会議室 B, https://www.eqpsj.jp/ .
2-4	学術講演	楠城一嘉, ETAS と b 値を用いた静岡県大の研究, ISM STAR-e workshop, 2024 年 2 月 13 日, 統計数理研究所会議室 1 (ハイブリッド方式), https://star-e.ism.ac.jp/topics/285.html .
2-5	学術講演	長尾年恭, 鴨川仁, 上嶋誠, 楠城一嘉, 2023 年度における富士山における全磁力・地震データ解析の進捗状況, 認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会第 17 回成果報告会, 2024 年 3 月 10 日, 連合会館 (ハイブリッド方式), https://npofuji3776.org/seika/yoko17/yoko17_05.pdf .
2-6	学術講演	【招待講演】楠城一嘉, 北海道・東北沖の地震のサイズ分布(b 値)の時空間変化, 第 241 回地震予知連絡会, 2023 年 11 月 30 日, 国土地理院 関

		東地方測量部 地震予知連絡会大会議室, https://cais.gsi.go.jp/YOCHIREN/info.html .
2-7	学術講演	【招待講演】楠城一嘉, 山本揚二郎, 有吉慶介, 堀川博紀, 矢田修一郎, 高橋成美, DONET データを用いた地殻活動モニタリングと b 値, ワークショップ: 海底ケーブルの科学利用と関連技術に関する将来展望 -第6回-, 2023 年 12 月 8 日, 東京大学生産技術研究所, https://seasat.iis.u-tokyo.ac.jp/CableWS/WS20231208/index.html .
2-8	学術講演	楠城一嘉, 行竹洋平, 熊澤貴雄, 静岡県伊東沖の地震活動の解析, 日本地震学会 2023 年度秋季大会, 2023 年 10 月 31 日-11 月 2 日, パシフィコ横浜アネックスホール, https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2023/subject/S09-17/advanced .
2-9	学術講演	楠城一嘉, 山本揚二郎, 有吉慶介, 堀川博紀, 矢田修一郎, 高橋成美, DONET の地震検知能力に関する研究, 日本地震学会 2023 年度秋季大会, 2023 年 10 月 31 日-11 月 2 日, パシフィコ横浜アネックスホール, https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2023/subject/S02P-03/advanced .
2-10	学術講演	K. Z. Nanjo, Y. Yamamoto, K. Ariyoshi, H. Horikawa, S. Yada, N. Takahashi, A completeness analysis of Dense Oceanfloor Network system for Earthquakes and Tsunamis (DONET), AGU fall meeting, 2023 年 12 月 11-15 日, San Francisco (USA), https://agu.confex.com/agu/fm23/meetingapp.cgi/Paper/1337376 .
2-11	学術講演	楠城一嘉, Hierarchical Space-Time ETAS (HIST-ETAS)モデルを用いたオンライン地震活動評価の実証実験: 序報, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, 2023 年 5 月 21-26 日, 幕張メッセ(千葉), https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2023/subject/SSS10-P19/advanced .
2-12	学術講演	楠城一嘉, 行竹洋平, 熊澤貴雄, A preliminary analysis of seismic activity off the coast of Ito, Shizuoka, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, 2023 年 5 月 21-26 日, 幕張メッセ(千葉), https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2023/subject/SVC33-03/advanced .
2-13	学術講演	Kazuyoshi Nanjo, Keisuke Ariyoshi, Yojiro Yamamoto, Hiroki Horikawa, Shuichiro Yada, Narumi Takahashi, Preliminary analysis of earthquake detection probabilities and completeness levels for the Dense Oceanfloor Network system for Earthquakes and Tsunamis (DONET), 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, 2023 年 5 月 21-26 日, 幕張メッセ(千葉), https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2023/subject/SSS04-P06/advanced .
2-14	学術講演	楠城一嘉, 井筒潤, 鴨川仁, 堀高峰, 尾池和夫, Spatial variability of the response of the Nagano seismicity to the 2011 Tohoku-oki earthquake, in Japan, 日本地球惑星科学連合 2023 年大会, 2023 年 5 月 21-26 日, 幕張メッセ(千葉), https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2023/subject/SSS10-13/advanced .
2-15	学術講演	Nanjo, Kazuyoshi, Izutsu, Jun, Kamogawa, Masashi, Hori, Takane, Nagao, Toshiyasu, Oike, Kazuo, Seismicity before and after the 2023 M7.8 and M7.5 earthquake sequence in Turkey: a preliminary report, The 28th General Assembly of the International Union of Geodesy and Geophysics (IUGG), 2023 年 7 月 11-20 日, Berlin (Germany), https://gfzpublic.gfz-potsdam.de/pubman/item/item_5020882 .
2-16	学術講演	Kazuyoshi Nanjo, SE13-A011 A Preliminary Report on Evaluating Online Seismicity: a Demonstration Experiment Using the Space-time ETAS Model,

		AOGS2023, 2023 年 7 月 30 日-8 月 4 日, Singapore, https://www.meetmatt-svr.net/timetable/presenterSchedule2023?Cfid=5&AuthorFname=nanjo&PMode=All&DayId=&SlotId=&Sid= .
2-17	学術講演	K. Z. Nanjo, Y. Yukutake, T. Kumazawa, Volcanism of Mount Fuji activated by the 2011 Japanese large earthquakes, EGU23-2186, EGU, Vienna, Austria, 2023 年 4 月 23-28 日, https://doi.org/10.5194/egusphere-egu23-2186 .
3-1	研究費	楠城一嘉, 「長期から即時までの時空間地震予測とモデリングの新展開」, 情報科学を活用した地震調査研究プロジェクト(STAR-E プロジェクト)委託業務.
3-2	研究費	楠城一嘉, 地殻活動と湧水から静岡北部の南アルプスを把握するプロジェクト, 南アルプス学会研究助成.
3-3	研究費	楠城一嘉, 富士山の低周波地震監視システム構築に向けた研究, 中部電力原子力安全技術研究所の公募研究(一般) (不採択).
3-4	研究費	湯瀬裕昭, 楠城一嘉, 鴨川仁, 須田潤, 干川剛史, 柴田義孝, 固定型から可搬型への自立型防災通信ステーションの転換に関する研究, 令和 6 年度 教員特別研究推進計画書 (申請中).
3-5	研究費	森本達也他, 多職種連携による健康長寿社会の実現を目指した教育展開, 令和 6 年度 教員特別研究推進計画書 (申請中).
3-6	研究費	楠城一嘉, 鴨川仁, 直前地震予知および富士山噴火予知に関する研究の環境整備, 清水経済人倶楽部, 奨学寄付金.
3-7	研究費	楠城一嘉, 地殻活動と湧水から静岡北部の南アルプスを把握するプロジェクト, Yahoo!基金 2024 年度 被災地復興・防災・減災 活動支援助成プログラム (不採択).
3-8	研究費	高橋成実, 近貞直孝, 大井昌弘, 今井健太郎, 山本揚二郎, 野々村敦子, 笠井武志, 楠城一嘉, 笠井大輔, 香川県を対象とした災害時リアルタイム対応支援システム構築の試み, 公益財団法人セコム科学技術振興財団 令和 5 年度: 特定領域研究助成, https://www.secomzaidan.jp/news/news20240312.html .
3-9	研究費	楠城一嘉, 行竹洋平, 熊澤貴雄, 火山活動がある時とない時の低周波地震の特性を解明する研究, 科研費 令和 6(2024)年度基盤研究(B) (不採択).
3-10	研究費	楠城一嘉, 地震・火山噴火予知研究ならびに津波予測研究の発展の体制整備について, 清和海運株式会社.
3-11	研究費	楠城一嘉, 静岡北部の南アルプスにおける地殻活動を把握するプロジェクト, Yahoo!基金 2023 年度防災減災活動支援助成プログラム, https://kikin.yahoo.co.jp/report/20230531.html .
3-12	研究費	長尾年恭, 楠城一嘉, 鴨川仁, 井筒潤, 地震災害予測のための地球観測データのデジタルアースへの適用-地震活動解析の高度化-, 採択課題番号: IDEAS202316, 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点, 中部大学国際GISセンター, http://gis.chubu.ac.jp/wp_data/kenkyu_data/ideas202316 「地震災害予測のための地球観測データのデジ/」.
4-1	報告書	長尾年恭, 鴨川仁, 上嶋誠, 楠城一嘉, 2023 年度における富士山における全磁力・地震データ解析の進捗状況(SR05), 富士山測候所を活用する会

		第 17 回成果報告会, https://npofuji3776.org/seika/yoko17/yoko17_05.pdf .
4-2	報告書	【第 3 分科会】公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム「大学と多様な主体との連携による災害への取組を考える」, 第 20 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム報告集 (発行所: 全国大学コンソーシアム協議会), 93-104 ページ, 2024 年 1 月.
5-1	一般向講演	楠城一嘉, 湯瀬裕昭, 自然災害研究の最新動向と災害時の衛星インターネット活用, 第 158 回ふじのくに防災学講座, 2023 年 11 月 25 日, 静岡県地震防災センター, https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1043918/1047449/1050994.html .
5-2	一般向講演	楠城一嘉, 南海トラフ巨大地震の可能性と臨時情報について~日頃からの備えが大切な理由~, 吉田町, 2023 年 9 月 23 日, https://www.town.yoshida.shizuoka.jp/secure/9179/防災講演会チラシ%20.pdf , https://www.town.yoshida.shizuoka.jp/7091.htm , https://www.youtube.com/watch?v=vmySR2tv2PI .
5-3	一般向講演	楠城一嘉, 1 年生「総合的な探究の時間」外部支援講師による指導, 三島北高校, 2024 年 1 月 24 日.
5-4	一般向講演	楠城一嘉, 1 年生「総合的な探究の時間」外部支援講師による指導, 三島北高校, 2023 年 9 月 20 日.
5-5	一般向講演	楠城一嘉, 地面の揺れのビックデータから富士山の火山活動監視, 第 12 回気象文化大賞発表会, 2023 年 5 月 23 日, https://www.youtube.com/watch?v=-nTnQR2WPEk .
5-6	一般向講演	楠城一嘉, 静岡の自然環境を知り防災へつなげるために, 清水経済人倶楽部, 2023 年 4 月 19 日.
6-1	学会活動	Chung-Han Chan, Kazuyoshi Nanjo, Teraphan Ornthamarath, Shengji Wei, Sessions, Seismic Hazard And Risk Assessments: Insights Into Observations, Models, And Implications, AOGS2024, 23-28 August, 2024, Pyeongchang, Gangwon-do, South Korea, Accepted.
6-2	学会活動	Chung-Han Chan, Kazuyoshi Nanjo, Teraphan Ornthamarath, Shengji Wei, Conveners, Seismic Hazard And Risk Assessments: Insights Into Observations, Models, And Implications, AOGS2024, 23-28 August, 2024, Pyeongchang, Gangwon-do, South Korea, Accepted.
6-3	学会活動	勝俣 啓, 楠城 一嘉, 座長 S09.地震活動とその物理, 日本地震学会 2023 年度秋季大会, 2023 年 10 月 31 日-11 月 2 日, パシフィコ横浜アネックスホール, https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2023/session/3A06-10/advanced .
6-4	学会活動	久利美和, 楠城一嘉, 座長[S-VC33]火山の監視と活動評価 JpGU2023, 2023 年 5 月 21-26 日, ハイブリッド方式(現地開催+オンライン開催), https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2023/session/SVC33_26AM1/detail .
6-5	学会活動	尾形良彦, 楠城一嘉, 座長[S-SS10]地震活動とその物理, JpGU2023, 2023 年 5 月 21-26 日, ハイブリッド方式(現地開催+オンライン開催), https://confit.atlas.jp/guide/event/jpgu2023/session/SSS10_22PM1/detail .
6-6	学会活	楠城一嘉, 直井誠, コンビナー[S-SS10]地震活動とその物理, JpGU2023,

	動	2023 年 5 月 21-26 日, ハイブリッド方式(現地開催+オンライン開催), https://www.jpgu.org/meeting_j2023/sessionlist_jp/detail/S-SS10.html , https://www.jpgu.org/meeting_e2023/sessionlist_en/detail/S-SS10.html .
6-7	学会活動	Kazuyoshi Nanjo, Session Chair, SE13 - Seismic Hazard and Risk Assessments: Observations, Models, and Applications, Asia Oceania Geosciences Society (AOGS2023), Singapore, 1:10 PM - 3:10 PM, August 3, 2023, https://www.meetmatt-svr.net/timetable/presenterSchedule2023?CfId=5&AuthorFname=nanjo&PMode=All&DayId=&SlotId=&Sid= .
8-1	報道など	〈千葉・4 日間で 16 回地震〉 SNS には「千葉の地震怖い」偶発する千葉沖地震は巨大地震の前ぶれなのか? 専門家に聞いてみた, Yahoo! ニュース, https://news.yahoo.co.jp/articles/fa2987f0bcd3664abee29fb0caf463013899b0f7 .
8-2	報道など	〈千葉・4 日間で 16 回地震〉 SNS には「千葉の地震怖い」偶発する千葉沖地震は巨大地震の前ぶれなのか? 専門家に聞いてみた, livedoor News, https://news.livedoor.com/article/detail/25973036/ .
8-3	報道など	〈千葉・4 日間で 16 回地震〉 SNS には「千葉の地震怖い」偶発する千葉沖地震は巨大地震の前ぶれなのか? 専門家に聞いてみた, au Web ポータル, https://article.auone.jp/detail/1/2/4/339_4_r_20240302_1709334045738972 .
8-4	報道など	〈千葉・4 日間で 16 回地震〉 SNS には「千葉の地震怖い」偶発する千葉沖地震は巨大地震の前ぶれなのか? 専門家に聞いてみた, goo ニュース, https://news.goo.ne.jp/article/shueisha/nation/shueisha-199506.html .
8-5	報道など	〈千葉・4 日間で 16 回地震〉 SNS には「千葉の地震怖い」偶発する千葉沖地震は巨大地震の前ぶれなのか? 専門家に聞いてみた, 集英社オンライン, https://shueisha.online/newstopics/199506 .
8-6	報道など	能登半島西側で余震急減? でも楽観は禁物 今後の地震、専門家は, livedoor News, 2024 年 2 月 1 日, https://news.livedoor.com/article/detail/25803372/
8-7	報道など	能登半島西側で余震急減? でも楽観は禁物 今後の地震、専門家は, 毎日新聞, 2024 年 2 月 1 日, https://mainichi.jp/articles/20240201/k00/00m/040/103000c .
8-8	報道など	能登半島西側で余震急減? でも楽観は禁物 今後の地震、専門家は, Yahoo ニュース, 2024 年 2 月 1 日, https://news.yahoo.co.jp/articles/d8cf5e38c39956d99af7db6eb5280580d0572ee6 .
8-9	報道など	震災の教訓と伝えたいこと, うえるかむ(発行元: 復興ボランティア支援センターやまがた), 第 165 号, 2024 年 2 月 21 日, https://tsunagarou.net/welcome/16802/ .
8-10	報道など	地震防災対策や研究成果紹介 静岡県立大がシンポ 災害情報活用法も議論, 静岡新聞, 2024 年 1 月 16 日, https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1393787.html .
8-11	報道など	11 月 30 日 国土地理院の第 241 回地震予知連絡会定例会で北海道・東北沖の地震活動と能登半島群発地震に関する招待講演を行いました。詳細は統数研プレスリリースに掲載されています。、統計数理研究所リス

		ク解析戦略研究センターニューズレター, 2023 年 12 月, 3 ページ, https://www.ism.ac.jp/risk/contents/newsletter/nl202312.pdf .
8-12	報道など	「防災レベル高めて」 楠城特任教授が講演 吉田町, 静岡新聞, 2023 年 9 月 26 日, https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1324062.html .
8-13	報道など	大学コンソーシアムの全国大会 (第 20 回全国大学コンソーシム研究交流フォーラム) を静岡県で初開催!, BtoB プラットフォーム業界 Ch, 2023 年 8 月 28 日, https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/amp/detail.page?IMNEWS1=4231068 .
8-14	報道など	富士山の火山活動や噴火時の避難など考える研究会 富士宮市, 静岡 NEWS WEB, 2023 年 8 月 29 日, https://www3.nhk.or.jp/lnews/shizuoka/20230829/3030021362.html .
8-15	報道など	富士山噴火の研究共有 溶岩流避難、地形の特性 鍵 富士宮で報告, 静岡新聞, 2023 年 8 月 30 日, https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1307046.html .
6-16	報道など	8 月 29 日に 公開講座「富士山の火山防災・環境研究の最前線」が開催されます, 2023 年 8 月 21 日, 太郎坊のそよ風(認定 NPO 法人 富士山測候所を活用する会 オフィシャルブログ), http://npofuji3776.blog.jp/archives/1082145990.html .
8-17	報道など	「富士山のマグマ活動監視で新手法」楠城理事の成果が中日新聞、NHK で取り上げられました, 2023 年 8 月 10 日, 太郎坊のそよ風 認定 NPO 法人 富士山測候所を活用する会 オフィシャルブログ, http://npofuji3776.blog.jp/archives/1082101246.html .
8-18	報道など	富士山のマグマ活動監視で新手法 県立大学などの研究グループ 2023 年 7 月 31 日, NHK, https://www3.nhk.or.jp/lnews/shizuoka/20230731/3030021029.html .
8-19	報道など	富士山マグマ監視に新手法 県立大・楠城特任教授ら/低周波地震検知、変化見逃さず, 2023 年 7 月 28 日, 中日新聞, https://www.chunichi.co.jp/article/737489 .
8-20	報道など	富士山直下で起きる地震のデータ処理に基づきマグマ活動を監視する新手法を開発, Tii 技術情報, 2023 年 7 月 10 日, https://tiisys.com/blog/2023/07/11/post-124153/ .
8-21	報道など	自由研究の参考書にこちらの本はいかがでしょう?, 防災アワー, 2022 年 7 月 24 日, https://www.joqr.co.jp/qr/article/59509/ .
8-22	報道など	【技術・仕組】富士山噴火に備えたマグマ活動監視に新手法が開発されました -静岡県立大学, TEAM 防災ジャパン, 2023 年 7 月 12 日, https://bosaijapan.jp/news/ 【技術・仕組】富士山噴火に備えたマグマ活動監視.
8-23	報道など	千葉で最大震度 5 強 相次ぐ地震 南海トラフ巨大地震に影響は?, 静岡朝日テレビ とびっきり! しずおか, 2023 年 5 月 11 日.
8-24	報道など	「島とか向こうの方だけど心配」伊豆半島で地震相次ぐ “海底噴火”に懸念の声も…専門家は「関係性なし」, 2023 年 5 月 15 日, https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/487002?display=1&mwplay=1 .
8-25	報道など	千葉で震度 5 強...南海トラフ地震との関連は? 専門家「全く違うもの」も対策は不可欠, SBS, 2023 年 5 月 11 日, https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/481470?display=1 , https://www.youtube.com/watch?v=F_XV4UW23ok .

9-1	客員・委員など	朝霧野外活動センター指定管理者選定委員(2024 年 6-10 月).
9-2	客員・委員など	東京大学地震研究所外来研究員 2023 年-(継続中).
9-3	客員・委員など	国立研究開発法人海洋研究開発機構客員研究員, 2022 年 3 月 1 日-(継続中), https://www.jamstec.go.jp/feat/j/members/ .
9-4	客員・委員など	情報・システム研究機構統計数理研究所客員教授, 地震のモデリングと予測に関する統計物理学的研究, 2024 年 4 月 1 日-2025 年 3 月 31 日.
9-5	客員・委員など	情報・システム研究機構統計数理研究所客員准教授, 地震のモデリングと予測に関する統計物理学的研究, 2023 年 4 月 1 日-2024 年 3 月 31 日.
9-6	客員・委員など	静岡大学客員教授, 地震発生予測システムの研究に関する指導・助言, 2024 年 4 月 1 日-2025 年 3 月 31 日, https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/about/ .
9-7	客員・委員など	静岡大学客員准教授, 地震発生予測システムの研究に関する指導・助言, 2023 年 4 月 1 日-2024 年 3 月 31 日, https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/about/ .
9-8	客員・委員など	県立青少年教育施設指定管理者外部評価委員会, 2024 年 4 月
9-9	客員・委員など	県立青少年教育施設指定管理者外部評価委員会, 2023 年 4 月
9-10	客員・委員など	北上しらゆり大使, 2020 年 7 月-(継続中), https://www.city.kitakami.iwate.jp/material/files/group/4/20201127_all2.pdf . https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/kitakamishinoshokai/gaiyou/12617.html
9-11	客員・など	日本学術振興会審査委員候補者, 2020 年 4 月-(継続中)
9-12	客員・など	認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会理事, 2021 年 7 月 1 日-(継続中), https://npofuji3776.org/about/profile.html .
9-13	客員・委員など	静岡県立大学地震対策部会, 2018 年 6 月-(継続中).
9-14	客員・委員など	静岡県立大学国際交流会館(仮称)構想検討委員会, 2023 年 5 月-(継続中).
9-15	客員・委員など	NISTEP 専門調査員, 「科学技術専門家ネットワーク」におけるインターネットを介した情報収集への協力(アンケート回答や情報提供など), 2023 年 4 月 1 日-2024 年 3 月 31 日.

10-1	企画	2023 年度第 6 期講座 (全 2 回)「地震と火山と防災」, 2024 年 2 月 2, 9 日, https://www.global-center.jp/holding_guidance/20240202/
10-2	企画	大学と多様な主体との連携による災害への取組を考える, 大学コンソーシアムが紡ぐ持続可能な地域社会づくり～アフターコロナ時代を見据えた新たな価値の創造を目指して～, 第 20 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム, 常葉大学静岡草薙キャンパス, 2023 年 9 月 2-3 日, https://www.consortium.or.jp/special/zenkokuconso/ , https://www.consortium.or.jp/zenkoku-conso/62208 .
10-3	企画	静岡県立大学グローバル地域センター 自然災害研究部門 第 6 回研究会, もくせい会館, 2024 年 3 月 22 日.
10-4	企画	みんなで作る清水の地震津波防災, 静岡県立大学グローバル地域センター 自然災害研究部門 第 5 回研究会, 清水マリノピア, 2024 年 1 月 13 日, https://www.global-center.jp/holding_guidance/20240113/ .
10-5	企画	静岡県立大学グローバル地域センター 自然災害研究部門 第 4 回研究会, 静岡県立大学草薙キャンパス, 2023 年 10 月 12 日.
10-6	企画	静岡県立大学グローバル地域センター 自然災害研究部門 第 3 回研究会, 静岡県富士山世界遺産センター, 2023 年 5 月 30 日.
10-7	企画	静岡県立大学グローバル地域センター 自然災害研究部門 第 2 回研究会, もくせい会館, 2023 年 5 月 30 日.
10-8	企画	静岡県立大学グローバル地域センター 自然災害研究部門 第 1 回研究会, もくせい会館, 2023 年 4 月 14 日.
11-1	講義	楠城一嘉, 地震と津波 第 9 回 地震活動 地震のサイズ分布, 徳島大学, 2023 年 12 月 1 日.
11-2	講義	楠城一嘉, しずおかと地震, 静岡県立大学 2024 年度前期「世界からしずおかを見る しずおかから世界へ」講義, 2024 年 4 月 10 日.
11-3	講義	楠城一嘉, 沈黙の静岡県: グローバルな社会を生き残るために必要な自然災害からの視点③④, 静岡県立大学 2023 年度前期「命とくらしをグローバルに考える講座」講義, 2023 年 4 月 25 日, 5 月 9 日.
11-4	講義	楠城一嘉, 地震予知とリスクとしての考え方, 2024 年度 静岡県立大学令和 5 年度「静岡の防災と医療」講義, 2023 年 4 月 24 日.
11-5	講義	楠城一嘉, 地震予知とリスクとしての考え方, 2023 年度 静岡県立大学令和 5 年度「静岡の防災と医療」講義, 2023 年 4 月 19 日.

3. 問合せ先等

2023 年度報告書(楠城一嘉)

静岡県立大学 グローバル地域センター 自然災害研究部門

2024 年 4 月 発行

著 者 静岡県立大学 グローバル地域センター 自然災害研究部門 楠城一嘉

発行所 静岡県立大学 グローバル地域センター

問合せ先 | 静岡県立大学 グローバル地域センター 自然災害研究部門 楠城一嘉

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-6-1 もくせい会館 2 階

TEL 054-245-5600 FAX 054-245-5603

E メール : nanjo@u-shizuoka-ken.ac.jp

URL: <http://global-center.jp>

Annual Report FY2023 of K. Z. Nanjo

Natural Disaster Research Section, Global Center for Asian and Regional Research,
University of Shizuoka

Author | Kazuyoshi Z. Nanjo, Natural Disaster Research Section, Global Center for Asian and
Regional Research, University of Shizuoka

Published by Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka, April 2024

Contact | Kazuyoshi Z. Nanjo, Natural Disaster Research Section, Global Center for Asian and
Regional Research, University of Shizuoka

3-6-1, Takajo, Aoi-Ku, Shizuoka-City, Shizuoka Prefecture, 420-0839, Japan

Tel: +81-54-245-5600 Fax: +81-54-245-5603

E-mail: nanjo@u-shizuoka-ken.ac.jp

URL: <http://global-center.jp>